

常位胎盤早期剥離

赤ちゃんはお母さんのお腹にいる間は胎盤によって栄養や酸素をもらって大きくなっていきます。常位胎盤早期剥離とは、何らかの原因で赤ちゃんがお腹の中にいるのに胎盤が剥がれてしまう状態です。赤ちゃんは栄養・酸素をもらうことができず、お母さんも出産の後の出血が止まりにくくなるなど、お母さんと赤ちゃんのどちらにとっても危険な状態となります。

〈原因〉

妊娠高血圧症候群や双子など多胎を妊娠されている方、転ぶなど外傷を受けた方に多いと言われてはいますが、原因ははっきりと分かっていません。頻度は高くありませんが、妊娠後期なら誰にでも起こる可能性があります。

〈症状〉

腹痛

陣痛は間隔がありますが、常位胎盤早期剥離はずっと痛みがあります
まな板の様にお腹が硬くなります

顔面蒼白

冷や汗や動悸などと共に起こります

出血

生理の時のようなサラサラとした出血です

胎動の減少

赤ちゃんがしんどくなると、胎動がいつもより少なくなります

注意

常位胎盤早期剥離は予知や予防が難しく、誰にでも起こる可能性があります。出血や腹痛など、“何かおかしいな”と思った場合には病院へ連絡してください。